

## 試験研究成果普及情報

部門	病害虫	対象	普及
課題名：アザミウマ類 4 種に対する各種薬剤の常用濃度における殺虫効果			
<p>[要約] 調査対象の 10 種類の化学合成殺虫剤の中で、千葉県内の 4 種アザミウマ類のうち少なくとも 1 種に対する殺虫効果が高い薬剤はエマメクチン安息香酸塩乳剤、クロルフェナピル水和剤、ピリダリル水和剤等の 5 種類であり、このうち最も効果が安定していると考えられるのはエマメクチン安息香酸塩乳剤である。</p>			
<p>キーワード<sup>1)</sup> ヒラズハナ、ネギ、ミカンキイロ、ミナミキイロ、アザミウマ、殺虫剤</p>			
実施機関名	<p>主 査 農林総合研究センター・生産環境部・病理昆虫研究室                      協力機関 千葉農業事務所、海匠農業事務所、千葉市農政センター</p>		
実施期間	2011 年度		

### [目的及び背景]

千葉県の野菜類等では近年、ヒラズハナアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ネギアザミウマが多発し直接的被害が問題となっているほか、ミカンキイロアザミウマやミナミキイロアザミウマが媒介する新たなウイルス病も発生し、被害拡大が懸念されている。そこで、これらアザミウマ類の効果的な防除に活用するため、現地での使用頻度が高い殺虫剤から 10 薬剤を選び、インゲンマメ葉片浸漬法により、千葉県内で採集した前述した 4 種（写真 1）の 2 齢幼虫に対する常用濃度での殺虫効果を明らかにする。

### [成果内容]

- 1 少なくとも 1 種のアザミウマで補正死虫率（以下、死虫率とする）90%以上と殺虫効果が高い殺虫剤は、エマメクチン安息香酸塩乳剤（商品名：アフーム乳剤）、クロルフェナピル水和剤（商品名：コテツフロアブル）、スピノサド水和剤（商品名：スピノエース顆粒水和剤）、スピネトラム水和剤（商品名：ディアナ SC）及びピリダリル水和剤（商品名：プレオフロアブル）の 5 薬剤であり、このうちエマメクチン安息香酸塩乳剤における殺虫効果は、どの種に対しても安定して高い（図 1）。
- 2 従来千葉県内でアザミウマ類に対する殺虫効果が安定して高かったスピノサド水和剤については、種間で死虫率が大きく異なり、一部の種では本薬剤に対して抵抗性が発達している可能性がある（図 1）。
- 3 トルフェンピラド乳剤（商品名：ハチハチ乳剤）には中程度のアザミウマ類殺虫効果が認められるが、レピメクチン乳剤（商品名：アニキ乳剤）、チアメトキサム水溶剤（商品名：アクタラ顆粒水溶剤）、ジノテフラン水溶剤（商品名：スタークル顆粒水溶剤）及びアセタミプリド水溶剤（商品名：モスピラン水溶剤）の殺虫効果は、一部の種と薬剤の組合せを除いて低い（図 1）。

### [留意事項]

- 1 調査対象とした殺虫剤のアザミウマ類に対する農薬登録の有無は品目ごとに異なる。

また、登録内容は随時変更されるため、使用の際は必ず最新の登録情報を確認する。

2 効果の高い薬剤の連用等、化学的防除への依存は殺虫剤抵抗性の発達を招く。アザミウマ類の防除にあたっては、殺虫剤以外の手段を組み合わせることが重要である。

[普及対象地域] 県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

既に一部の講習会で本情報の内容が周知され、アザミウマ類の防除に活用されている。

[成果の概要]



写真1 供試したアザミウマ類の成虫（左からヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ）

注) 試験にはいずれも2齢幼虫を用いた

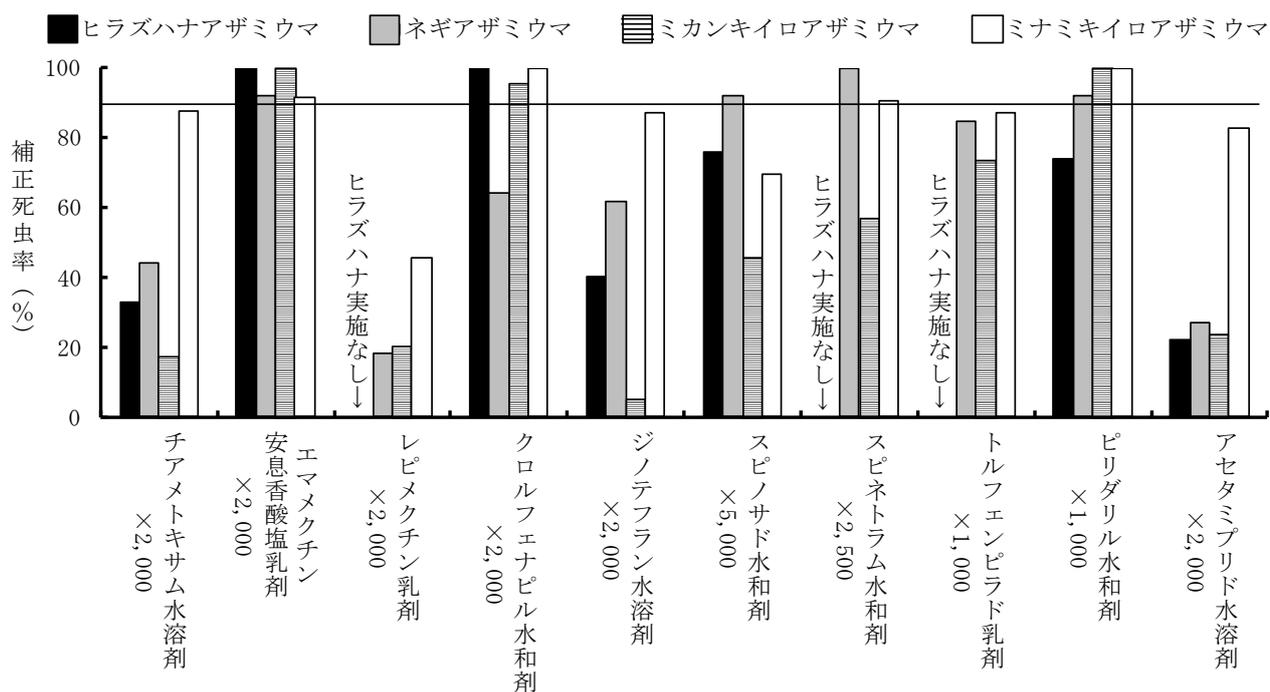


図1 4種アザミウマ類の2齢幼虫に対する各薬剤の殺虫効果(インゲンマメ葉片浸漬法)

注) 図中の横線は補正死虫率90%を示す

[発表及び関連文献]

アザミウマ類4種の千葉県内個体群に対する各種薬剤の殺虫効果、関東東山病害虫研究会報、第59集、2012年

[その他]